

ピコフラクショナル Resolve fusion 532nm (リスク・副作用)

ピコ秒ネオジウム:ヤグレーザーを、フラクショナルビーム光で照射するリジュビネーション治療は、点状にレーザーが照射されます。表皮のメラニン色素に反応することで、薄い散らばった表在性色素斑(シミ)、雀卵斑(ソバカス)の改善や、真皮層のコラーゲンの産生を促し、お肌全体のハリや毛穴の改善が期待できます。個人差はありますが、照射時より軽度の痛み、照射直後からは赤みと腫れがみられます。表在性色素斑や雀卵斑への照射後に赤みが強く出た場合は、薄い痂皮が生じる場合があります。治療間隔は、**1カ月に1回**の目安で治療を行っていきます。

治療が受けられない方

下記の病気や症状がある方、下記薬剤の使用中的の方は治療を受けられません。

- 光過敏症 てんかん発作 ケロイド、瘢痕体質 免疫抑制剤・ステロイド剤の服用
- 傷の治りが悪い方 治療部位に悪性腫瘍(癌) 治療部位に感染を疑う症状
- 全身状態不良 瘢痕化した刺青や色素性疾患 単純ヘルペスⅠ型、Ⅱ型の活動性の病変
- アートメイク直上部位 肝斑部位

※妊娠中の方は安全性が確立されていません。医師にご相談ください。

治療経過

- 照射時より軽度の痛みが生じ、数時間持続する場合があります。
- 照射直後より赤みや腫れが出現します。この症状は約3~4日で消失します。
- 表在性色素斑や雀卵斑に照射後の反応が強く出た場合は、薄い痂皮が生じる場合があります。その場合、痂皮は無理に剥がさないでください。

レーザー治療後の注意点

- お化粧品は、赤みや腫れが消失してから行ってください。
- 保湿を行い、摩擦を与えないようにスキンケアを行なってください。
- 日常的に、SPF30以上の日焼け止めを使用してください。
- 痂皮が生じた場合には、引っ掻いたり、無理に剥がしたりしないでください。炎症後の色素沈着を起こす場合があります。
- 治療後の当日は、入浴や多量の飲酒は控えてください。

その他

- 治療部位にお化粧品や日焼け止め等が残っていると、レーザー光を過剰に吸収されてしまう可能性がありますので、照射前は完全に落としてください。
- 治療中は目を守るため、専用のゴーグルを装着します。レーザー照射中は絶対に外さないようにしていただき、また直接レーザー光は見ないようにしてください。
- 照射後、色素斑等の色が一時的に濃くなる場合があります。